



陵東新聞

令和4年度

R4. 10. 20発行

寒河江市立陵東中学校

校長 横山 和弘

自然・人・地域・歴史・文化を学ぶ

9月5日から7日にかけて各学年の校外学習が行われました。校外学習のねらいは、自分たちが住んでいる地域を知ること、学習を通して社会生活における常識やマナー、様々な人とのコミュニケーションを学ぶこと、また、仲間と行動を共にすることで協力したり相手に合わせたりする力を身につけることなど、学校生活ではなかなか経験できない貴重な学びができることです。天気にも恵まれ、各学年とも充実した学習ができました。市内各事業所のみならず、市関係施設のみならず、その他準備実施に関わってくださったみなさま、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

<1年 ウォークラリー>

班ごとに歩いて陵東学区にある名所、旧跡等を訪問し、寒河江のよさを改めて知ることができました。今年は特に大江公関連の施設も訪問して学習を行いました。身近にあってもふだんなかなか訪問することができない場所を訪問して、新たな発見ができました。



「寒河江の農業を学ぶ」



「寒河江の歴史・大江氏について」



「寒河江のまちづくりについて」

寒河江にはまだ知らないことが山ほどあった。学年行事ウォークラリーは中学生になったばかりにとって楽しみにしていた行事の一つだ。当日まで各班で寒河江のことについて話したり調べたりした。

しかし、12年間暮らしている寒河江の新しい発見なんて無理だろうと思っていた。けれど見学に行った陽春院と福泉寺を見た時驚いた。屋根の瓦に大江氏の家紋「一文字三ツ星」があったのだ。自分が何度も何度も通った場所だったが、それを初めて見つけたのだ。寒河江にも自分が知らない魅力発見があるのだ。その後は周りを見ながらウォークラリーを楽しんだ。今回の学習は自分のためになる貴重な時間だった。 1年 日下部 翔

私がウォークラリーをして学べたことや成長できたなど思うことはたくさんあります。まず、計画を立てることの大切さです。私たちの班は班長とコース係が中心となって見学先やコースを考えました。どこに行っても何をやるのかは学習係である私も必死に考えました。時間や道を考えるのはとても大変でした。当日考えていたとおりにはなりませんでした。計画を立てる大切さは実感することができたと思います。また、仲間を気遣うことの重要さもよくわかりました。「疲れた」といっていたら、「少し休もう」といってあげることができました。「休みたい」といったら、皆と協力しないとこのウォークラリーはうまく成り立たないと思います。とても暑い中、協力して歩いたり学んだりすることができました。

そして私は時間を見て判断するのが大切だと思いました。行きたかったけど、行けなかったお寺がいくつかあります。計画通りに歩くことができているれば行けたのですが、午後から疲労がだんだん出てきて計画に沿って歩くことができずでした。「時間の流れってこんなに速いんだ。」と感じました。もう少しよく考えて計画を立てればよかったです。でも、とても楽しかったです。計画性と体力、先を見越す力をもっとつけたいと思います。協力して楽しく寒河江の魅力について学べたのでよかったです。 1年 安藤 愛音

< 2年 職場体験学習 >

市内42の事業所にご協力いただき、2日間職場体験学習を行いました。「地域を知る」、「仕事を体験する」、「生き方を学ぶ」など、多くのことを体験できた貴重な経験でした。

私はリプライで職場体験をしました。ほとんどが立ち作業で、体力をとんでも使う作業もありました。覚えることも多く、頭もたくさん使ったので、2日間でとても疲れました。仕事の大変さを知ることができました。

オリエンテーションで仕事についてお話を聞きました。「自分にとって仕事とは何か」、「何のために仕事をするのか」と質問されて、「給料をもらって生活できるようにするため。」と答えました。それもあるけれど、「人間力を磨く」ということも教えてくれました。人間力とは、周りの人に気がつかったり、人のために動いたりする力のことです。他にも仕事をする上で、「注意してくれる人を大切にする」、「頼まれごとは試されごと」などを学びました。

2年 納富 千夏

職場体験をしてみて学んだことは、周りをよく見て動くことです。ただ、ぼーっとして指示を待っているのではなく、周りを見ながら行動することで、まだ終わっていない作業を見つけることができたり、指示が出される前に気づいて準備をしたりできるからです。もう一つは笑顔です。接客中の美容師さんは立ち仕事で動きっぱなしで疲れると思うのに、ずっと笑顔でコミュニケーションをとっていてすごいなと思いました。私が心に残っているのは助手をさせてもらったことです。とても貴重な体験で、前から美容師になりたかった私には忘れられない経験となりました。

2年 小野 聖空



消費者の気持ちになつて



子供の気持ちに寄り添う



本を借りる人の気持ちになつて

< 3年 修学旅行～岩手県～ >

2泊3日の日程で岩手県内で研修しました。①同じ東北地方に位置する山形県と比較関連づけて理解を深める、②東日本大震災からの復興に共感し、課題を解決する態度を養い、防災意識を高める、③健康面に留意し、感染症予防に努め安全安心に活動する、④集団活動に必要な話し合い活動を通して、自律・自立の態度、社会性や協調性を身につける、をねらいとして、「みんなが学び、楽しみ、たくさんのよさを見つける旅行に」を心がけて、思い出に残る旅行になりました。

スローガン「百花繚乱～之を知る者は、之を楽しむものに如かず～」

東日本大震災の被災地へ訪れた。そこで行った震災学習を通して、改めて自然災害の恐ろしさについて深く学んだ。実際に現場へ行くと、海のそばに位置していたためとても怖かった。災害当時にその町にいた人の話を聞いた。とても熱心に話している様子から、「あなたたちに同じような運命をたどってほしくない」という気持ちが伝わってきた。様々なことを学んだが、その中で「人がつくったものは自然災害にはかなわない」という言葉が深く心に残った。当たり前のことだが、「確かにな」と深く共感した。「自然の力で人は簡単に命を落とす」、そう思った。これからは、この震災学習で学んだことを自分でも実行できるように、避難先を決めておくなどをしていく。災害の記憶を忘れずにこれからの学校生活を送っていききたい。

3年 後藤 悠介

広い敷地をどのようにまわればいいのか班のメンバーで考えることができました。班の一人一人が意見を出し合って自分たちにとってよい研修ができたと思います。班活動を通して意見を出すことの大切さを学びました。優柔不断な返答をしてしまうと、今後どのようにすればいいのかさらに悩んでしまうと思います。だからこそ自分の意見を出していくことが大切なんだと思います。しかし、時には相手の意見を聞くことも大切です。お互いの意見を尊重していきたいです。

この修学旅行で学んだ、「意見を出すこと、聞くこと」は今後の社会生活にも生かせることだと思います。この学びを無駄にせずより良いものにしていきたいです。2泊3日で深い学びができました。中学校生活で最高の思い出をつくることができました。

3年 大沼 愛奈



研修
中尊寺金色堂での



龍泉洞
日本三大鍾乳洞の



平安貴族の衣装で